

269 型はチップタンタルコンデンサ 267 型を基本に、ヒューズによるオープン機構を内蔵したタンタルコンデンサです。

特 長

1. 過電流の場合、ヒューズが溶断して、コンデンサの発煙・発火を抑制するオープン機構付きです。
2. チッププレーサーによる自動マウントに最適な構造です。
3. 高密度実装に適した寸法精度と対称電極構造のため、良好な「セルフアライメント」を有します。
4. はんだ耐熱性は260℃、10秒を満了しリフロー、浸せきのいずれにも対応できます。
5. 電源フィルタなど低インピーダンス回路に適しています。

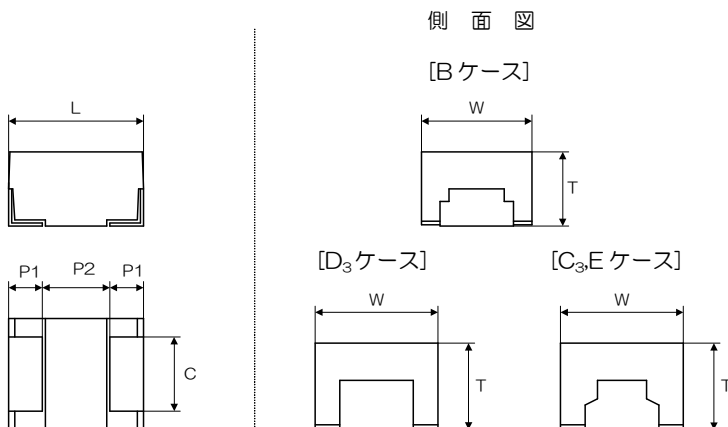
定 格

項 目	定 格	備 考
カテゴリ-温度範囲 (使用温度範囲)	-55~+125℃	85℃を超える場合は軽減電圧にて使用
定格温度 (定格電圧使用最高温度)	+85℃	(125℃において2/3×定格電圧)
定格電圧	6.3 ~ 50VDC	標準品・拡張品一覧表による
定格静電容量 (公称静電容量)	0.15 ~ 150μF	
定格静電容量許容差	±10%、±20%	
故障率水準	1%/1000h	85℃、定格電圧印加 1000h、回路抵抗 0.5Ω/V

形名の構成

269 品種名		E シリーズ		1602 定格電圧		226 定格静電容量		M 定格静電容量許容差		R 形状記号		720 規格番号 (テーピング仕様)		
表記	シリーズ	電圧表記	定格電圧	容量表記	静電容量	容量表記	静電容量	容量表記	静電容量	許容差記号	定格静電容量許容差	形状記号	リール	極 性
M	標準品	6301	6.3VDC	154	0.15 μF	155	1.5 μF	156	15 μF	K	±10%	R	φ180	送り穴側 -
E	拡張品	1002	10VDC	224	0.22 μF	225	2.2 μF	226	22 μF	M	±20%	L	φ180	送り穴側 +
		1602	16VDC	334	0.33 μF	335	3.3 μF	336	33 μF			N	φ330	送り穴側 -
		2002	20VDC	474	0.47 μF	475	4.7 μF	476	47 μF			P	φ330	送り穴側 +
		2502	25VDC	684	0.68 μF	685	6.8 μF	686	68 μF					
		3502	35VDC	105	1.0 μF	106	10 μF	107	100 μF					
		5002	50VDC					157	150 μF					

外形寸法



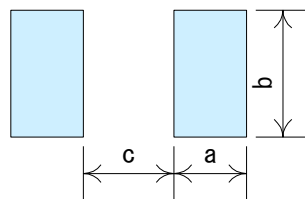
(mm)

ケース記号	EIA Code	L±0.2	W±0.2	T±0.2	P ₁ ±0.2	P ₂ min.	C±0.1
B	3528	3.5	2.8	1.9	0.8	1.5	2.2
C3	6032	6.0	3.2	2.5	1.3	3.0	2.2
D3	7343	7.3	4.4	2.8	1.3	4.0	2.4
E	7257	7.3	5.8	3.5	1.3	4.0	3.5

推奨取り付けランド

(mm)

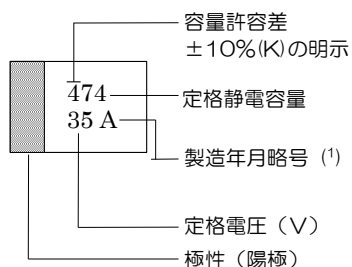
ケース記号	a		b	c
	70-	リ70-		
B	3.2	2.0	2.4	1.8
C3	4.2	2.4	2.5	3.3
D3	5.2	2.4	2.7	4.6
E	5.6	2.4	3.8	4.6



表示

[Bケース]

[C₃D₃Eケース]



注(1) 製造年月略号は表示工程通過年月を基準とし、JIS C 5101-1 附属書 1 表 13 により表示する。

定格電圧・静電容量別ケースサイズ

<標準品：Mシリーズ>

R.V.(VDC) Cap.(μF)	6.3	10	16	20	25	35	50
0.15							B
0.22							B
0.33							B
0.47							C3
0.68							C3
1.0					B	B, C3	C3
1.5				B	B	C3	D3
2.2			B	B		C3	D3
3.3			B		C3	C3, D3	
4.7		B		C3	C3	D3	
6.8			C3	C3	D3	D3, E	
10		C3	C3	D3	D3	E	
15		C3	D3	D3	E	E	
22		D3	D3	E	E		
33		D3	E	E			
47			E				
68		E					
100	E						

<拡張品：Eシリーズ>

R.V.(VDC) Cap.(μF)	6.3	10	16	20	25	35	50
0.47							B
0.68							
1.0							
1.5							C3
2.2							
3.3				B			D3
4.7			B				
6.8		B					
10	B	B	B	C3			
15			B	C3	C3		
22			C3	D3			
33		C3	D3				
47	C3	B, D3	D3				
68	D3	D3	E				
100	B, D3	D3, E					
150	D3						

形 名 (1)(2)	定格 電圧 VDC	サージ電圧 VDC		静電 容量 μF	ケース 記号	漏れ電流 μA			損失角の正接				ESR Ω 10kHz
		85℃	125℃			20℃	85℃	125℃	-55℃	20℃	85℃	125℃	
269M 6301 107 ₋₁ ² 720	6.3	8	5	100	E	6.3	63	79	0.10	0.08	0.08	0.08	0.7
269M 1002 475 ₋₁ ²	10	13	8	4.7	B	0.5	5	6.3	0.08	0.06	0.06	0.06	3.0
269M 1002 106 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	10	C3	1.0	10	13	↓	↓	↓	↓	1.2
269M 1002 156 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	15	C3	1.5	15	19	↓	↓	↓	↓	↓
269M 1002 226 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	22	D3	2.2	22	28	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 1002 336 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	33	D3	3.3	33	41	↓	↓	↓	↓	↓
269M 1002 686 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	68	E	6.7	67	85	↓	↓	↓	↓	0.7
269M 1602 225 ₋₁ ²	16	20	13	2.2	B	0.5	5	6.3	0.08	0.06	0.06	0.06	3.0
269M 1602 335 ₋₁ ²	↓	↓	↓	3.3	B	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	↓
269M 1602 685 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	6.8	C3	1.1	11	14	↓	↓	↓	↓	1.2
269M 1602 106 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	10	C3	1.6	16	20	↓	↓	↓	↓	↓
269M 1602 156 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	15	D3	2.4	24	30	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 1602 226 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	22	D3	3.5	35	44	↓	↓	↓	↓	↓
269M 1602 336 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	33	E	5.3	53	66	↓	↓	↓	↓	0.7
269M 1602 476 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	47	E	7.5	75	94	↓	↓	↓	↓	↓
269M 2002 155 ₋₁ ²	20	26	16	1.5	B	0.5	5	6.3	0.08	0.06	0.06	0.06	3.0
269M 2002 225 ₋₁ ²	↓	↓	↓	2.2	B	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	↓
269M 2002 475 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	4.7	C3	0.9	9	12	↓	↓	↓	↓	1.2
269M 2002 685 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	6.8	C3	1.4	14	17	↓	↓	↓	↓	↓
269M 2002 106 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	10	D3	2.0	20	25	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 2002 156 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	15	D3	3.0	30	38	↓	↓	↓	0.08	1.5
269M 2002 226 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	22	E	4.4	44	55	↓	↓	↓	0.06	0.7
269M 2002 336 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	33	E	6.6	66	83	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 2502 105 ₋₁ ²	25	32	20	1.0	B	0.5	5	6.3	0.05	0.04	0.04	0.05	3.0
269M 2502 155 ₋₁ ²	↓	↓	↓	1.5	B	0.5	5	6.3	0.08	0.06	0.06	0.06	↓
269M 2502 335 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	3.3	C3	0.8	8	9.6	↓	↓	↓	↓	1.2
269M 2502 475 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	4.7	C3	1.2	12	15	↓	↓	↓	↓	↓
269M 2502 685 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	6.8	D3	1.7	17	21	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 2502 106 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	10	D3	2.5	25	31	↓	↓	↓	0.08	1.5
269M 2502 156 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	15	E	3.8	38	47	↓	↓	↓	0.06	0.7
269M 2502 226 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	22	E	5.5	55	69	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 3502 105 ₋₁ ²	35	44	28	1.0	B	0.5	5	6.3	0.05	0.04	0.04	0.05	3.0
269M 3502 105 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	1.0	C3	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	↓
269M 3502 155 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	1.5	C3	0.5	5	6.6	0.08	0.06	0.06	0.06	1.2
269M 3502 225 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	2.2	C3	0.8	8	9.6	↓	↓	↓	↓	↓
269M 3502 335 ₋₁ ² 734	↓	↓	↓	3.3	C3	1.2	12	14	↓	↓	↓	↓	↓
269M 3502 335 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	3.3	D3	1.2	12	14	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 3502 475 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	4.7	D3	1.6	16	21	↓	↓	↓	↓	↓
269M 3502 685 ₋₁ ² 734	↓	↓	↓	6.8	D3	2.4	24	30	↓	↓	↓	0.08	1.5
269M 3502 685 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	6.8	E	2.4	24	30	↓	↓	↓	0.06	0.7
269M 3502 106 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	10	E	3.5	35	44	↓	↓	↓	↓	↓
269M 3502 156 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	15	E	5.3	53	66	↓	↓	↓	↓	1.0
269M 5002 154 ₋₁ ²	50	63	40	0.15	B	0.5	5	6.3	0.05	0.04	0.04	0.05	5.0
269M 5002 224 ₋₁ ²	↓	↓	↓	0.22	B	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	↓
269M 5002 334 ₋₁ ²	↓	↓	↓	0.33	B	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	3.0
269M 5002 474 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	0.47	C3	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	↓
269M 5002 684 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	0.68	C3	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	↓
269M 5002 105 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	1.0	C3	0.5	5	6.3	↓	↓	↓	↓	↓
269M 5002 155 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	1.5	D3	0.8	8	9.4	0.08	0.06	0.06	0.06	1.5
269M 5002 225 ₋₁ ² 720	↓	↓	↓	2.2	D3	1.1	11	14	↓	↓	↓	↓	↓

注 (1) ₋₁ は容量許容差 K 又は M が入ります。

(2) ₋₂ には、テーピング仕様のみ形状記号 L, P 又は R, N が入ります。

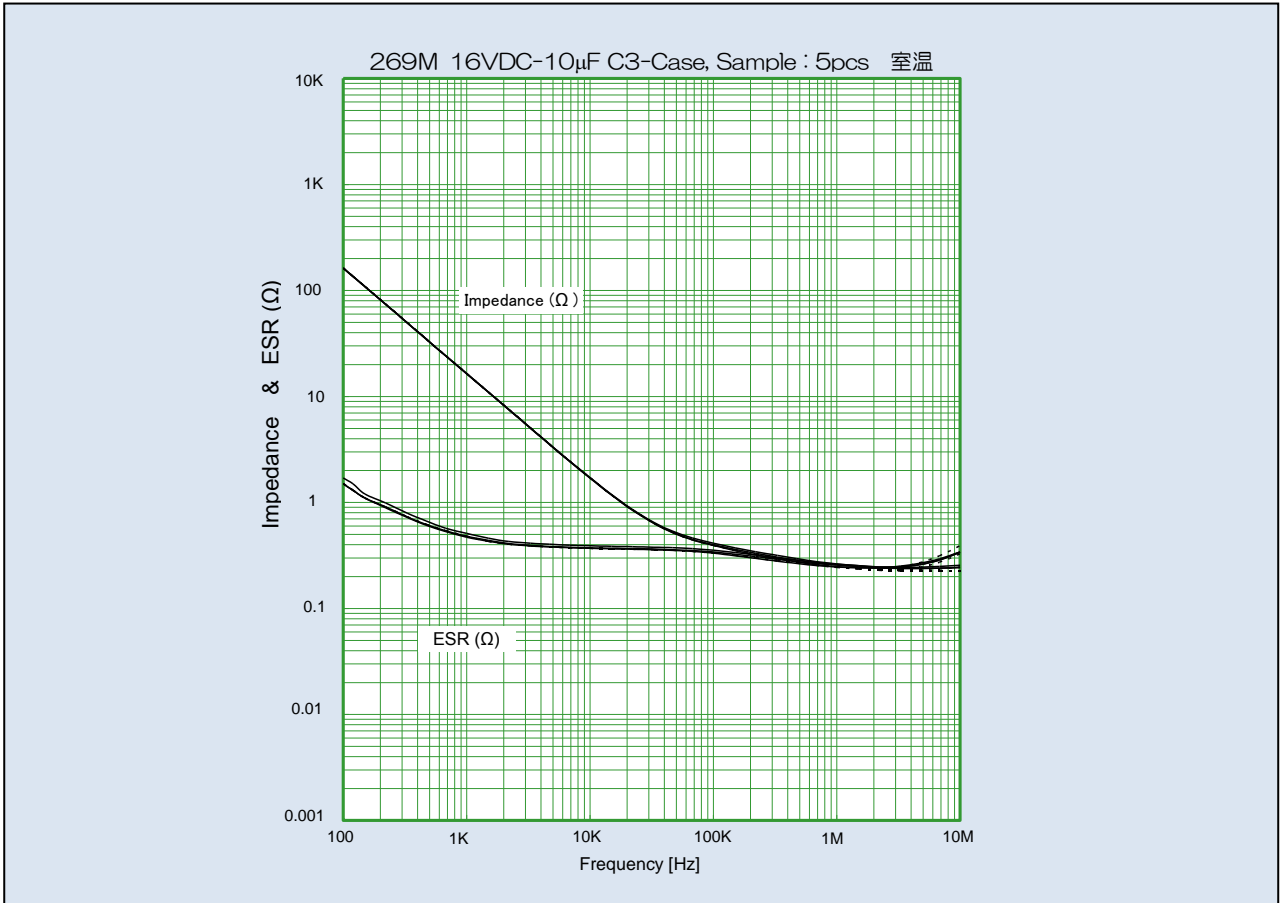
形 名 ⁽¹⁾ ₍₂₎ ⁽³⁾	定格 電圧 VDC	サージ電圧 VDC		静電 容量 μF	ケース 記号	漏れ電流 μA			損失角の正接				ESR Ω 10kHz
		85℃	125℃			20℃	85℃	125℃	-55℃	20℃	85℃	125℃	
269E 6301 106 ₋₁ ²	6.3 ↓	8 ↓	5 ↓	10	B	0.6	6	7.9	0.08	0.06	0.06	0.08	3.0
269E 6301 476 ₋₁ ² 720				47	C3	3.0	30	37	↓	↓	↓	↓	1.2
269E 6301 686 ₋₁ ² 720				68	D3	4.3	43	54	↓	↓	↓	↓	1.0
269E 6301 107 M ₋₂				100	B	6.3	63	79	0.22	0.15	0.15	0.18	3.0
269E 6301 107 ₋₁ ² 720A				100	D3	6.3	63	79	0.15	0.08	0.08	0.10	1.0
269E 6301 157 ₋₁ ² 734A				150	D3	9.5	95	118	↓	↓	↓	↓	↓
269E 1002 685 ₋₁ ²	10 ↓	13 ↓	8 ↓	6.8	B	0.7	7	8.5	0.08	0.06	0.06	0.08	3.0
269E 1002 106 ₋₁ ²				10	B	1.0	10	13	↓	↓	↓	↓	↓
269E 1002 336 ₋₁ ² 720				33	C3	3.3	33	41	↓	↓	↓	↓	1.2
269E 1002 476 M ₋₂				47	B	4.7	47	59	0.18	0.12	0.12	0.14	3.0
269E 1002 476 ₋₁ ² 720				47	D3	4.7	47	59	0.08	0.06	0.06	0.08	1.0
269E 1002 686 ₋₁ ² 720A				68	D3	6.8	68	85	↓	↓	↓	↓	↓
269E 1002 107 ₋₁ ² 734A				100	D3	10	100	130	0.15	0.08	0.08	0.10	↓
269E 1002 107 M ₋₂ 720				100	E	10	100	125	0.10	↓	↓	0.08	0.7
269E 1602 475 ₋₁ ²	16 ↓	20 ↓	13 ↓	4.7	B	0.8	8	9.4	0.08	0.06	0.06	0.08	3.0
269E 1602 106 ₋₁ ²				10	B	1.6	16	20	↓	↓	↓	↓	↓
269E 1602 156 ₋₁ ²				15	B	2.4	24	30	0.12	0.08	0.08	0.10	↓
269E 1602 226 ₋₁ ² 720				22	C3	3.5	35	44	0.08	0.06	0.06	0.08	1.2
269E 1602 336 ₋₁ ² 720				33	D3	5.3	53	66	↓	↓	↓	↓	1.0
269E 1602 476 ₋₁ ² 720A				47	D3	7.5	75	94	↓	↓	↓	↓	↓
269E 1602 686 ₋₁ ² 720				68	E	11	109	136	0.10	0.08	0.08	↓	0.7
269E 2002 335 ₋₁ ²				20 ↓	26 ↓	16 ↓	3.3	B	0.7	7	8.3	0.08	0.06
269E 2002 106 ₋₁ ² 720	10	C3	2.0				20	25	↓	↓	↓	↓	1.2
269E 2002 156 ₋₁ ² 720	15	C3	3.0				30	38	↓	↓	↓	↓	↓
269E 2002 226 ₋₁ ² 720	22	D3	4.4				44	55	↓	↓	↓	↓	1.0
269E 2502 156 ₋₁ ² 734	25	32	20	15	C3	3.8	38	47	0.10	0.08	0.08	0.10	1.4
269E 5002 474 ₋₁ ²	50 ↓	63 ↓	40 ↓	0.47	B	0.5	5	6.3	0.06	0.04	0.04	0.06	3.0
269E 5002 155 ₋₁ ² 720				1.5	C3	0.8	8	9.4	0.08	0.06	0.06	0.08	1.2
269E 5002 335 ₋₁ ² 720				3.3	D3	1.7	17	21	↓	↓	↓	↓	1.0

注 (1) ₋₁ は容量許容差 K 又は M が入ります。
 (2) ₋₂ には、テーピング仕様のみ形状記号 L, P 又は R, N が入ります。
 (3) 形名末尾に“A”のある定格は、防湿包装を行います。

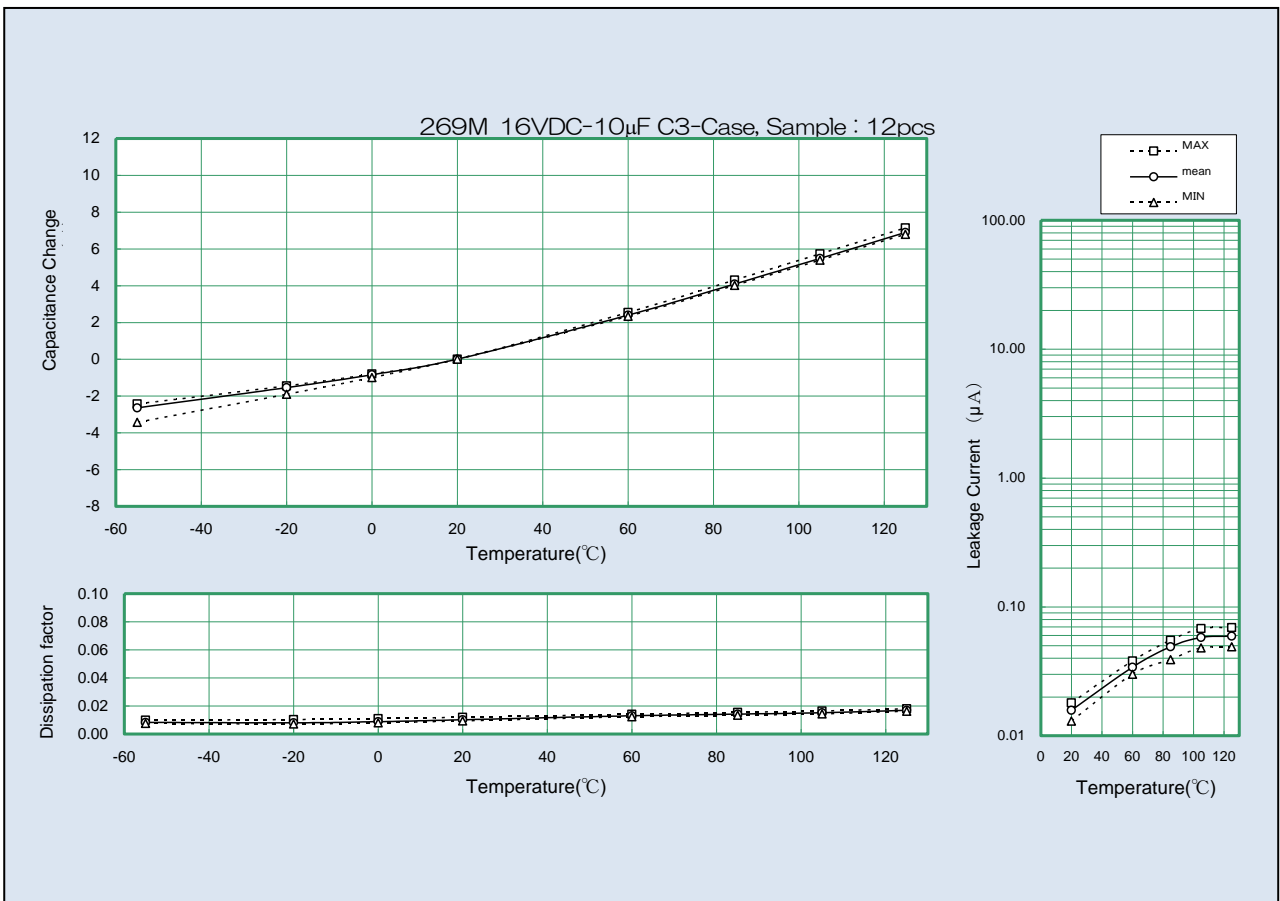
性能

No	項目	性能	試験方法
1	漏れ電流 (μA)	0.01CV又は0.5のいずれか大きな値以下	JIS C 5101-1 4.9項 印加電圧：定格電圧 印加時間：5分間 測定温度：常温
2	静電容量	規定の許容差以内	JIS C 5101-1 4.7項 測定周波数：120Hz±20% 測定電圧：0.5Vrms+1.5~2VDC 測定温度：常温
3	損失角の正接	標準品・拡張品一覽表に示す値以下	JIS C 5101-1 4.8項 測定周波数：120Hz±20% 測定電圧：0.5Vrms+1.5~2VDC 測定温度：常温
4	等価直列抵抗	標準品・拡張品一覽表に示す値以下	測定周波数：10kHz 測定温度：常温
5	高温及び低温特性		JIS C 5101-1 4.29項 測定温度：20±2℃
	段階 1	漏れ電流 静電容量 損失角の正接	No1に示す値以下 規定の許容差以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下
	段階 2	静電容量変化率 損失角の正接	段階1の値の±10%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下
	段階 3	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接	No1に示す値以下 段階1の値の±2%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下
	段階 4	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接	0.1CV又は5のいずれか大きい値以下 段階1の値の±10%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下
	段階 5	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接	0.125CV又は6.3のいずれか大きい値以下 段階1の値の±15%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下
	段階 6	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接	No1に示す値以下 段階1の値の±2%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下
6	サージ	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接 外 観	No1に示す値以下 試験前の値の±5%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下 著しい異常がないこと
7	固着性	端子電極のはく離がないこと	JIS C 5101-1 4.34項 JIS C 5101-1 4.33項により、実装したものを試料とする。 加圧力：5N 保持時間：10±1秒間
8	耐プリント板曲げ性	静電容量 外 観	測定中、測定値が安定していること 外観に損傷がないこと
9	振動	静電容量 外 観	測定中、測定値が安定していること 外観に損傷がないこと
10	衝撃	0.5ms以上の断続的接続又はショートあるいはオープンなどないこと また火花放電、絶縁破壊あるいは機械的損傷がないこと	JIS C 5101-1 4.19項 最大加速度：490m/s ² 作用時間：11ms 波 形：正弦半波
11	はんだ付け性	端子にはんだが良好に付着（ピンホール、ぬれ不良及びはんだはじきがない）していること	JIS C 5101-1 4.15項 はんだの温度：230±5℃ 浸せき時間：3~5秒 浸せき深さ：端子部をはんだ槽へ浸漬する
12	はんだ耐熱性	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接 外 観	JIS C 5101-1 4.14項 次のいずれかによる。 (a) 完全浸せき法 ・ はんだの温度：260±5℃ ・ 浸せき時間：10±1秒 (b) 端子部浸せき法 ・ はんだの温度：260±5℃ ・ 時 間：10±1秒
13	部品の耐溶剤性	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接	No1に示す値以下 試験前の値の±3%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下
14	表示の耐溶剤性	外 観	表示が明瞭であること
15	温度急変	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接 外 観	No1に示す値以下 試験前の値の±5%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下 外観に損傷がないこと
16	高温高湿	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接 外 観	No1に示す値以下 試験前の値の±5%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下 外観に損傷がなく、表示が明瞭であること
17	耐久性	漏れ電流 静電容量変化率 損失角の正接 外 観	No1に示す値の125%以下 試験前の値の±10%以内 標準品・拡張品一覽表に示す値以下 外観に損傷がなく、表示が明瞭であること
18	ヒューズ溶断特性	溶断時間 表面温度	ヒューズ溶断特性（実測値）グラフをご覧ください。
19	突入電流試験	ヒューズが溶断しないこと	印加電圧：定格電圧 電源容量：20A以上の電流を印加

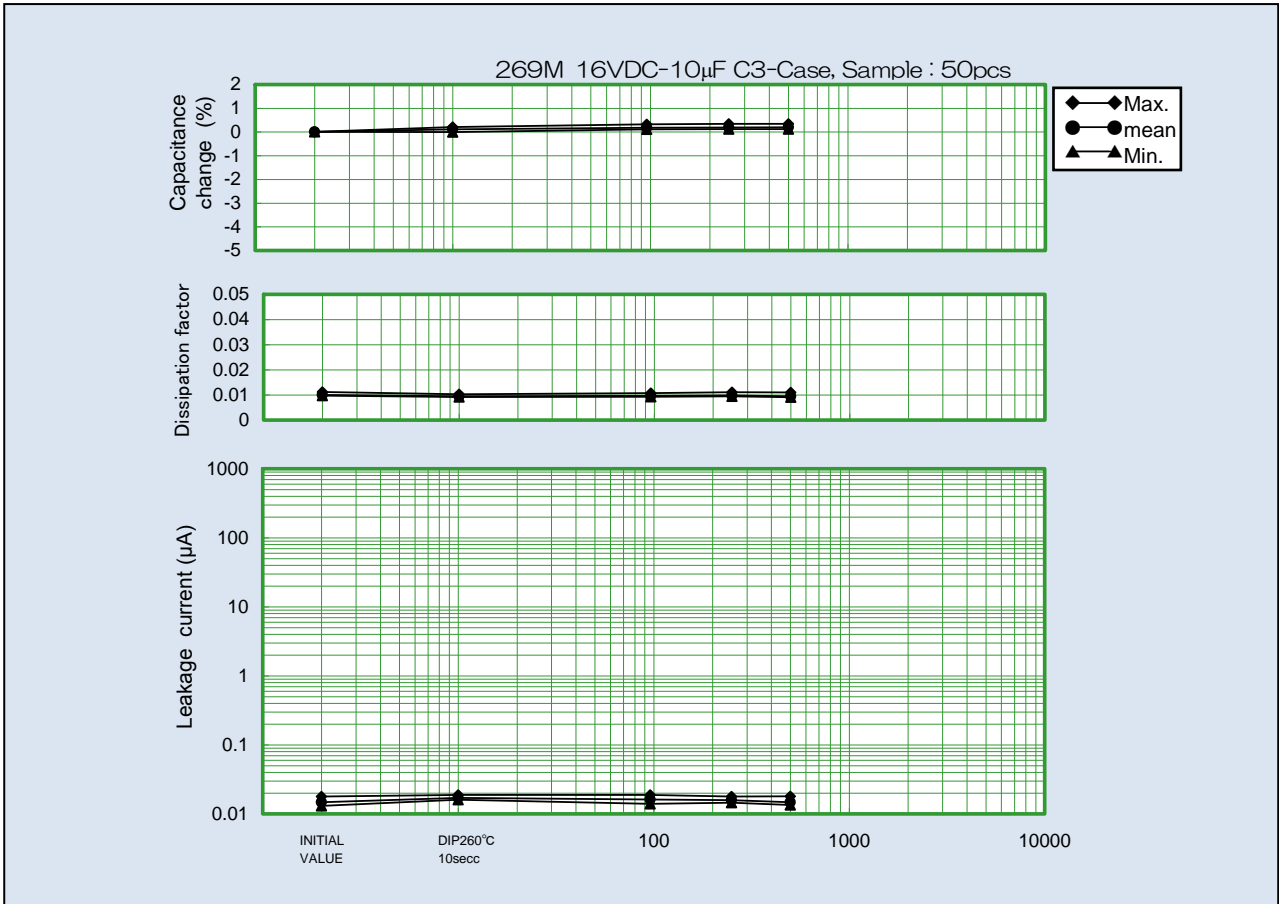
周波数特性



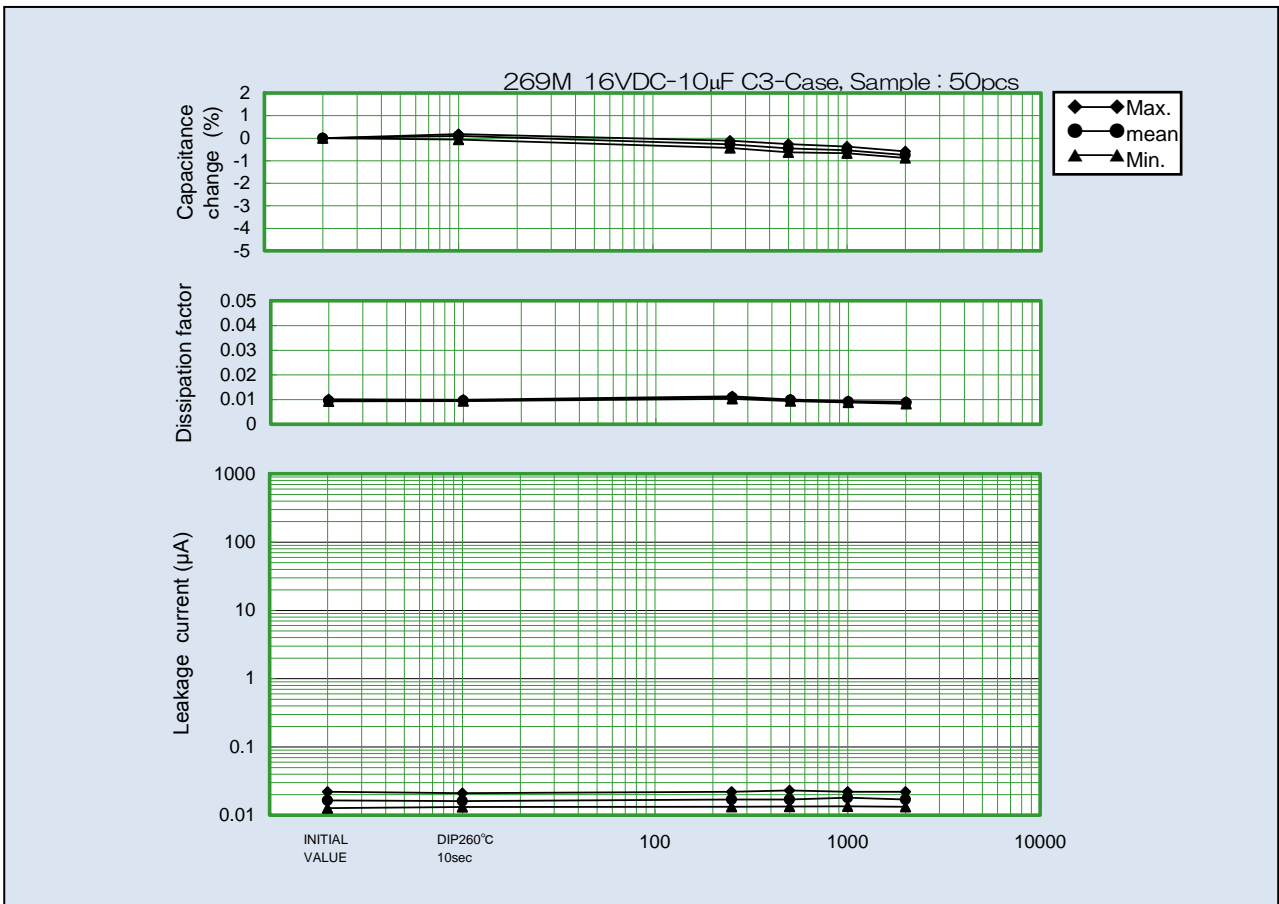
温度特性



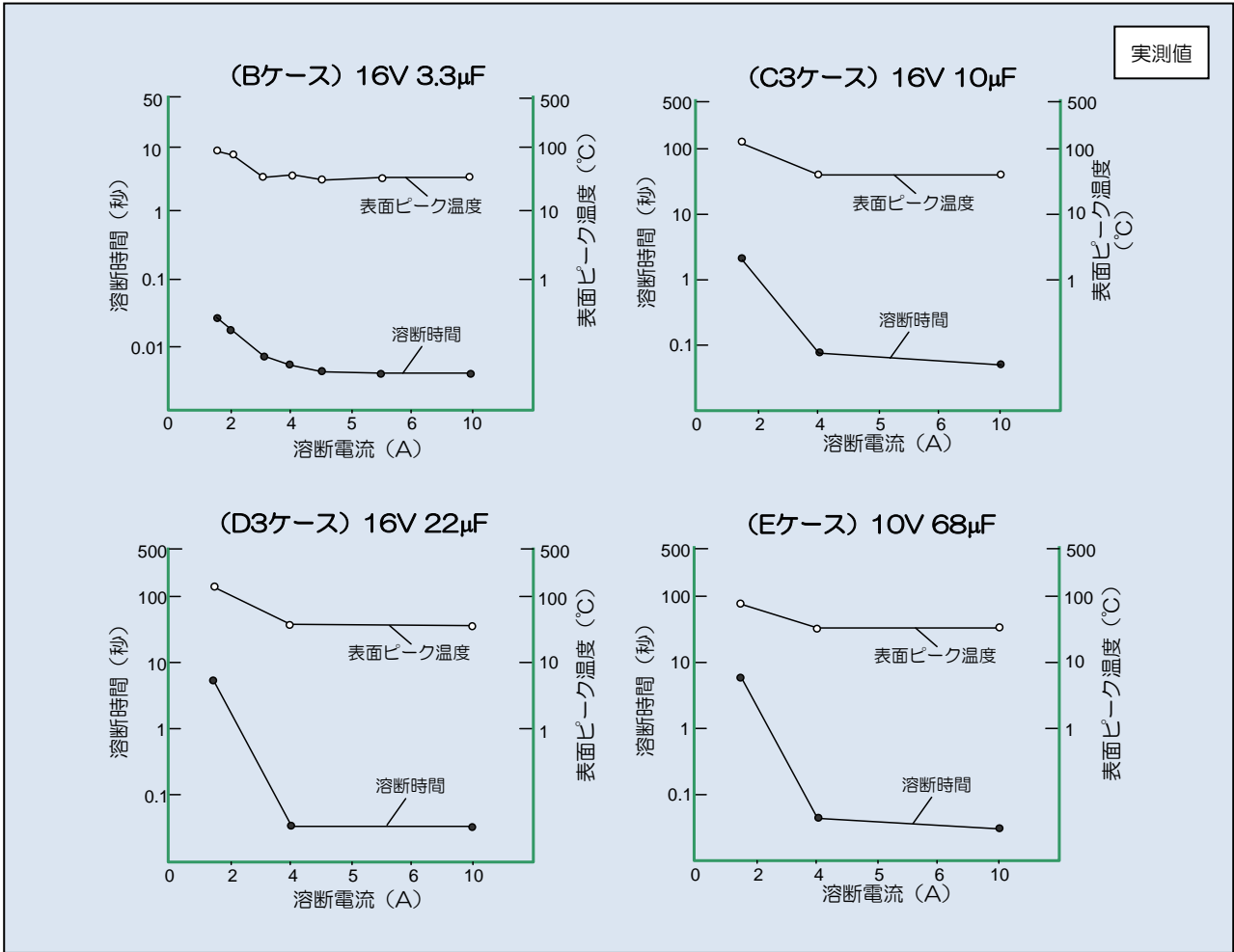
高温高湿 40°C、95%RH



耐久性 85°C、定格電圧



ヒューズ溶断特性



⚠ 使用上の注意事項（チップ形タンタル固体電解コンデンサ）

1. 使用電圧について

タンタル固体電解コンデンサは定格電圧以下でご使用ください。

- ・定格電圧：定格電圧とは、定格温度でコンデンサの端子間に連続して印加することができる直流電圧の最大値をいいます。
- ・サージ電圧：サージ電圧とは、定格温度または最高使用温度でコンデンサに瞬間的に印加できる電圧で、6分の周期で1000Ωの直列抵抗を通して30秒間印加するサイクルを1000回繰り返したとき、耐えることのできる電圧をいいます。

回路設計に際しては、機器の要求信頼度を考慮して適切な電圧軽減をしてください。

2. 交流成分を含む回路に使用する場合

以下の3項目について特にご注意願います。

- (1) 直流電圧および交流電圧せん頭値の和が定格電圧を超えないこと。
- (2) 交流の半サイクルで許容値を超えた逆電圧がかからないこと。（3項参照）
- (3) リプル電流は許容値を超えないこと。

3. 逆電圧について

タンタル固体電解コンデンサは有極性ですので逆電圧を印加しないで下さい。なお、コンデンサの両端をテスター等でチェックされる場合はテスターの電位（極性）を事前に確認して下さい。

4. 許容リプル電流

100kHz付近あるいはそれ以上でご使用になる場合の許容リプル電流および電圧は、各ケースサイズ毎の表1の許容電力損失値（Pmax値）とESR規格値から、以下の式で求めることができます。ただし、予想動作温度が室温以上の場合は、Pmax値に所定の乗数（表2）をかけて許容値を計算して下さい。また、異なる周波数の場合は弊社の乗数（表2）をかけて許容値を計算して下さい。また、異なる周波数の場合は弊社営業担当へお問い合わせください。

$$P=I^2 \times ESR \text{ または } P=\frac{E^2 \times ESR}{Z^2} \text{ より、}$$

$$\text{許容リプル電流 } I_{max}=\sqrt{\frac{P_{max}}{ESR}} \text{ (Arms)}$$

$$\text{許容リプル電圧 } E_{max}=\sqrt{\frac{P_{max}}{ESR}} \times Z$$

ここで、

- I_{max} 規定周波数での許容リプル電流（Arms：実効値）
- E_{max} 規定周波数での許容リプル電圧（Vrms：実効値）
- P_{max} 許容電力損失（W）
- ESR 規定周波数でのESR規格値（Ω）
- Z 規定周波数でのインピーダンス（Ω）

表1 ケースサイズ毎の許容電力損失 $= I_{max} \times Z (V_{rms})$

ケースサイズ	Pmax (W)
B	0.050
C3	0.065
D3	0.085
E	0.105

表2 各動作温度でのPmaxの乗数

動作温度（℃）	乗数
25	1.0
55	0.9
85	0.8
125	0.4

注 この値は0.8tのガラスエポキシ基板に実装した状態で大気中にて計測した実験値であり、基板の種類、実装密度、空気の流れ状態等により変わる場合がありますので、計算された電力損失値が本表のPmaxと同程度になる場合には弊社営業担当へお問い合わせください。

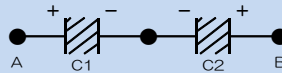
5. 低インピーダンス回路での使用について

0.1Ω/Vの低インピーダンス回路の故障率は1Ω/Vの場合の故障率に比較して約5倍となります。電源フィルタ特にスイッチング電源用その他ノイズバイパス用等の低インピーダンス回路にタンタルコンデンサをご使用の際は、低インピーダンスによる故障率増大を防ぐための使用電圧がコンデンサの定格電圧の1/2以下（1/3以下推奨）になるような定格を選定ください。

6. バイポーラ接続での使用について

許容逆電圧を超える逆電圧がかかる回路、または純交流回路の場合でも下図のようにBACK TO BACKに2個のタンタルコンデンサを接続すればご使用いただけます。BACK TO BACK接続の場合に次の点にご注意ください。

- 電圧：C1及びC2単独のときの許容リプル電圧を超えないこと。
- 容量：(C1×C2) / (C1+C2)
- 漏れ電流：右図において
端子Aが（+）になる場合：C1の漏れ電流と同じ
端子Bが（+）になる場合：C2の漏れ電流と同じ



7. はんだ付け

7.1. プレヒート

コンデンサの信頼性を向上させるには、はんだ付け時に加わる熱衝撃をゆるやかにするのが有利です。130℃～200℃（60～120秒）のプレヒートを必ず行ってください。

7.2. はんだ付け

コンデンサ本体温度が260℃を超えない条件のもとで、はんだ付けを行ってください。

(1) リフロー

基板面にクリームはんだを印刷塗布し、コンデンサを装着して加熱する方法で、加熱方法により直接加熱と雰囲気加熱に区分されます。

- ・直接加熱（ホットプレート）

基板を直接熱板に載せる方法です。コンデンサは一般的に常温の大気中にさらされており、熱板または基板温度より低くなります。

- ・雰囲気加熱

a) VPS（ベーパーフェーズソルダーリング）

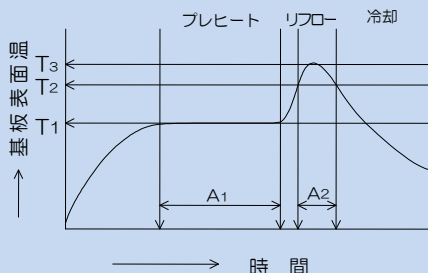
高沸点不活性液体の蒸気により加熱する方法で、コンデンサ本体と基板はほぼ同一温度で上昇し、雰囲気温度に達します。温度は240℃以下にセットしてください。

b) 近赤外、遠赤外線加熱

条件によってはコンデンサ本体が熱吸収のため内部温度は設定温度より20～30℃高くなり、260℃を超えることもあります。コンデンサ本体の内部温度が260℃を超えないよう炉の温度設定は必ず低めにするか、空気あるいは窒素循環（c項参照）を併用してください。

c) 循環式加熱炉

主な加熱源は赤外線ですが、加熱された空気、窒素あるいは不活性ガスを循環することにより、基板と製品がほぼ同じ温度に加熱できる方法です。



温度	時間
T1=130℃～200℃	A1：60～120秒
T2=220℃～230℃	A2：60秒以下
T3=～260℃	10秒以下

回数：2回Max

(2) はんだごて

温度および時間制御が困難であり、はんだごてによる取付け修正は推奨出来ません。やむを得ず行う場合は、コンデンサ本体の端子部にはんだごてをあてないようにして、350℃以下、5秒以内の条件ですみやかにはんだ付けを行ってください。

(3) その他各種の方法がありますので、ご使用にあたっては当社営業にご相談ください。

8. 溶剤洗浄

有機溶剤を用いた洗浄では、その洗浄効果だけを追及することは、コンデンサの外観、機能を損ねる場合があります。当社のコンデンサは2-プロパノールに、20~30℃にて5分間浸せきされても影響はありませんが、新しい洗浄方式の導入又は、洗浄条件の変更等に際しましては当社営業にご相談ください。

9. 樹脂モールド

基板組立後、樹脂注型などでモールドされると、樹脂硬化にともなう発熱および硬化応力、さらにはその後の温度変化によって生じる内部応力により故障の原因となることがありますので、樹脂およびハッパコート剤の選定は十分事前テストの後行ってください。

10. 振動、落下衝撃

コンデンサを高さ1mのところからコンクリートの床に落下させますと約300Gの過大な衝撃力が加わります。落下させた製品の全てが故障する性質のものではありませんが、故障の原因となり、機器の信頼性を低下させる確率が高くなります。

11. 超音波洗浄

過酷な超音波条件で洗浄を行うと端子が切断されることがあります。また電気的特性面からも好ましくありませんので、出来る限り使用しないでください。もし使用される場合は以下の配慮をお願いします。

(1) 溶剤を沸騰状態にしないでください。(超音波出力を下げるか、沸点の高い溶剤を使用してください)

(2) 超音波出力0.5W/cm²以下にしてください。

(3) 洗浄時間は極力短くし、かつ試料は揺動させてください。

なお、ご使用に際しては当社営業にご相談ください。

12. その他注意事項

- ・コンデンサを2個以上直列接続する場合、個々のコンデンサに電圧が均等に分圧できる抵抗器を並列に接続してください。
- ・実装スペースの制約などによるコンデンサの外装材の切削加工は行なわないでください。
- ・セットのエージングの条件は、コンデンサの定格以下で実施してください。
- ・セット稼働中にコンデンサに直接触れないでください。
- ・コンデンサを分解しないでください。
- ・コンデンサの両端子をテスター等でチェックする場合は、テスターの電位(極性)を事前に確認してください。通電中に電極を当ててチェックする場合には、他の部品等の端子に触れないようにしてください。
- ・セットの使用時、発火、発煙及び臭気が生じた場合、セットの電源を切るか又は電源コードをコンセントからぬいてください。燃焼した場合は顔や手を近づけないでください。
- ・コンデンサがショートをすると高温になり、コンデンサ素子のタンタルが発火する場合があります。この際プリント配線板等を焼損するおそれがあります。
- ・コンデンサは直射日光や埃にさらさないよう梱包した状態で常温常温で保管してください。取り決めた保管期間を経過したコンデンサは、協議の上処置してください。
- ・通電されない状態でのご使用機器は、常温・常温で保管してください。高温度の雰囲気で使用される場合は、防湿処理を行ってください。また、コンデンサ周囲に結露するような使用は避けてください。活性なガス中での使用はコーティング等で、直接ガスがコンデンサに触れないようにしてください。酸やアルカリの雰囲気での使用は避けてください。
- ・コンデンサは各種の金属および樹脂より構成されていますので廃棄にあたっては産業廃棄物として処置してください。
- ・サンプルとしてお求めになったコンデンサは、市販機器に使用しないでください。サンプルは、特定用途(形状見本、電気特性確認用等)に提供しております。

この使用上の注意事項は、電子情報技術産業協会(JEITA)発行の「電子機器用固定タンタル固体電解コンデンサの使用上の注意事項」(EIAJ RCR-2368)を参考に作成いたしました。注意事項の詳細(解説・理由・具体例等)につきましては上記を参照されるか、当社営業担当へお問い合わせください。

NCC 松尾電機株式会社

タンタル固体電解コンデンサに関するご相談は下記へお問い合わせ下さい。

東日本営業部	：	〒101-0054	東京代田区神田錦町1丁目10番1号(サクラビル)	TEL(03)3295-8800	FAX(03)3295-4213
中部日本営業部	：	〒446-0074	愛知県安城市井杭山町一本木5番10号(碧海ビル3F)	TEL(0566)77-3211	FAX(0566)77-1870
西日本営業部	：	〒561-8558	大阪府豊中市千成町3丁目5番3号	TEL(06)6332-0883	FAX(06)6332-0920
海外営業部	：	〒561-8558	大阪府豊中市千成町3丁目5番3号	TEL(06)6332-0883	FAX(06)6332-0920
ホームページURL	：	http://www.ncc-matsuo.co.jp/			

当カタログの掲載内容は、予告なく変更することがありますので、ご使用に当たっては、弊社営業担当へお問合せの上、仕様のご確認をお願いします。